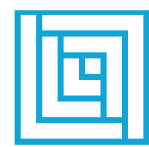


ChangeWAVE
Group



ChangeWAVE LYXIS

山梨県主催 県内企業経営者向け

「ビジネスケアラーセミナー」 アンケート報告(抜粋)

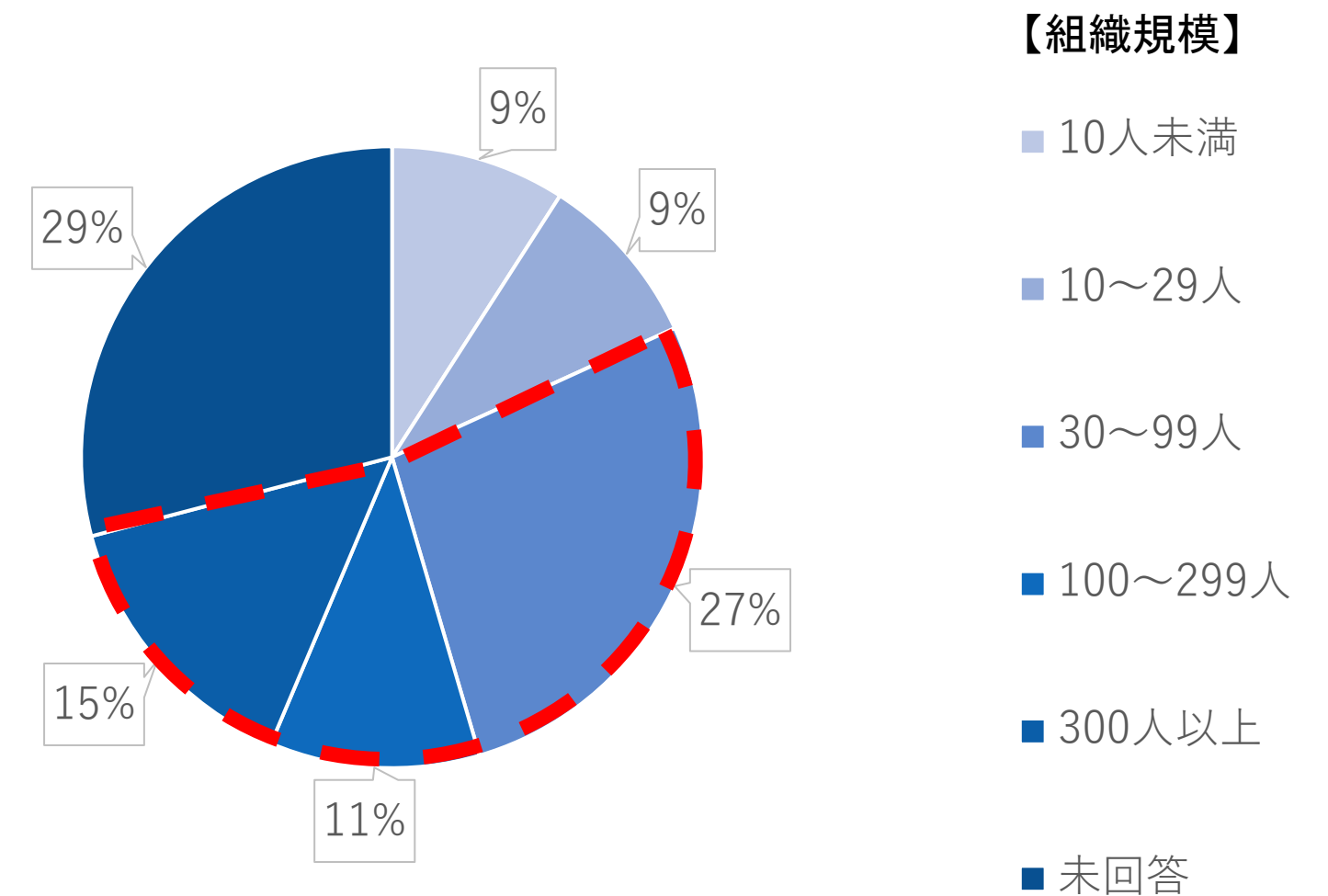
2024 / 10 / 02

1. アンケート回答概要
2. 回答結果
 - a. 流入経路
 - b. 満足度
 - c. 仕事と介護の両立に対する考え方の変化
 - d. ガイドライン、法制度（育児介護休業法）変更に関する認知
 - e. 仕事と介護の両立支援導入状況（現状・制度詳細）
 - f. 今後の支援（方針・支援策・予算感）
3. 参加者の声
4. 総括

1. アンケート回答概要

- 回答数 : 55 (山梨県庁関係者様除く)
- アンケート実施方法 : 紙 (A4・両面、全14問)
- 所属組織別内訳 : 従業員数30人以上が半数以上

未回答が29%



2. 回答結果

a. 流入経路

回答	回答数	%
1 山梨県内の経済団体からの紹介	26	47.3%
2 市町村関係者からの紹介	4	7.3%
3 介護団体関係者からの紹介	0	0.0%
4 知人からの紹介	8	14.5%
5 県のホームページを見て	5	9.1%
6 その他	11	20.0%
NA 未回答	1	1.8%

- 経済団体からの紹介が約半数
- 「その他」詳細
 - 県からのご紹介（ご担当部署・ご担当者・メール）
 - スリーアップ推進協議会

2. 回答結果

b. 満足度

回答	1 セミナー全体		2 酒井譲の講演		3 パネルディスカッション	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1 大変満足	33	60.0%	36	65.5%	23	41.8%
2 どちらかという満足	19	34.5%	16	29.1%	23	41.8%
3 どちらでもない	1	1.8%	0	0.0%	2	3.6%
4 どちらかという不満	1	1.8%	1	1.8%	2	3.6%
5 不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
NA 未回答	1	1.8%	2	3.6%	5	9.1%

- セミナー全体満足度 94.5%

2. 回答結果

c. 仕事と介護の両立に対する考え方の変化

回答	回答数	%
1 大きく変化した	33	60.0%
2 どちらかというに変化した	19	34.5%
3 どちらでもない	1	1.8%
4 どちらかというに変化なし	1	1.8%
5 変化なし	0	0.0%
NA 未回答	1	1.8%

- 変化した/どちらかというに変化した 94.5%

※詳細は次ページ参照

2. 回答結果

c. 仕事と介護の両立に対する考え方の変化（詳細）

【アンケートコメントより】 ※抜粋

● “介護”へのイメージ

- “介護は子供のやること”という**固定観念を覆された**
- **事前に介護になる前に職場や家庭で話し合っておくことが必要**と感じました。
- **後回しにしないこと**

● 情報・知識の重要性

- **知識の必要性**を感じました。
- **介護のプロの活用の重要性**を認識した
- **自分ですべてしなければならないという考えは違う**
- **介護はプレーヤーではなくマネジャーには考えが大きく変わりました。**
- **何が正しいか、イメージと実際は大きく違うと気づいた**
- **情報を得て知識を得たい**と思います。

● 企業の取組

- 職場で活用できる具体的なヒントをいただいた
- 体制整備が大切だとは思っていましたが、**まずは知識を知っていただくこと相談窓口を周知することが大切だ**と知っておどろきました。
- **企業側の人間として制度等の見直しの検討と意識**
- 介護相談等を中心に考えていたが**相談窓口の設置（状況の把握）やアドバイス等の重要性**がわかった
- 介護離職を防止するために2h/日、5h/休日以内の負担をする様に**周囲の協力を得る事を会社施策の中で考えていきたい**と思います。

2. 回答結果

d. ガイドライン、法制度（育児介護休業法）変更に関する認知

回答	回答数	%
1 知っていた	4	7.3%
2 なんとなく知っていた	17	30.9%
3 知らなかった	33	60.0%
NA 未回答	1	1.8%

回答	回答数	%(回答総数)
1 テレビ	1	4.3%
2 新聞	8	34.8%
3 ビジネス冊子	2	8.7%
4 経済団体から	3	13.0%
5 国ホームページを見て	4	17.4%
6 その他	1	4.3%
NA 未回答	4	17.4%

< 組織規模別回答 >

回答	10人未満		10~29人		30~99人		100~299人		300人以上		未回答	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	1	20%	0	0%	1	7%	0	0%	0	0%	2	13%
2	0	0%	2	40%	7	47%	1	17%	3	38%	4	25%
3	4	80%	3	60%	7	47%	5	83%	5	63%	9	56%
NA	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%

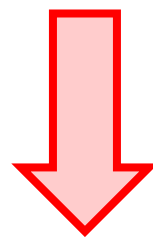
- 認知している層は新聞、経済団体、国のホームページが大半を占める
- 企業規模にかかわらず、半数以上が「知らなかった」

2. 回答結果

e. 仕事と介護の両立支援導入状況（現状）

回答	回答数	%
1 導入している	19	34.5%
2 導入していない	11	20.0%
NA 未回答	9	16.4%

- 導入済は半数に満たない
→「育児介護休業法」の認知が低いことのあらわれか
- 30人以上の組織では半数以上が導入済



<組織規模別回答>

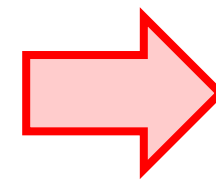
回答	10人未満		10～29人		30～99人		100～299人		300人以上		未回答	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	1	20%	2	40%	8	53%	5	83%	6	75%	3	19%
2	4	80%	3	60%	7	47%	1	17%	2	25%	0	0%
NA	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	13	81%

2. 回答結果

e. 仕事と介護の両立支援導入状況（制度詳細）

<組織規模別回答>

回答	回答数	% (回答総数)
1 介護休業制度	17	18.5%
2 介護休暇制度	22	23.9%
3 半日単位の年次有給休暇制度	14	15.2%
4 時間単位の年次有給休暇制度	12	13.0%
5 短時間勤務制度	9	9.8%
6 始業・就業時間の繰上げ・繰下げ（時差出	6	6.5%
7 所定外労働の制限	2	2.2%
8 テレワーク・在宅勤務	5	5.4%
9 フレックスタイム制	5	5.4%
10 その他	0	0.0%



回答	10人未満	10~29人	30~99人	100~299人	300人以上	未回答
回答	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
1	1	1	6	4	4	1
2	1	1	7	5	6	2
3	1	2	5	3	3	
4		1	6	2	2	1
5		1	2	2	3	1
6			2	1	3	
7			1	1		
8		1	1		3	
9				2	2	1
10						

- 介護休業・休暇制度は本来100%となるべきところ42%（法制度の認知度が低いことのあらわれか）
- 組織規模に伴い導入済の制度の選択肢が増える傾向

3. 参加者の声

【アンケートコメントより】 ※一部抜粋

● セミナー全体

- **2025年を前に**今回のセミナーを聞くことができてよかった
- 介護時代に入りたいへん有意義なテーマでした
- **現実を思い知らされるヘビーな内容**だった、こちらの勉強不足によるものだが略称がわからない
- このような企画をしてくださったこと**知事さんの県としての取り組みへの想いを直接聞くことができるとてもうれしく心強く**思いました。
- **講師、パネラーとも人選がよかった。**知事自ら登壇しパネラーを務めたのも良かった。

● 企業の取組の重要性

- 介護の問題は**行政だけではなく企業にも協力**いただく時代になったことを改めて感じました。**企業と連携する仕組みづくり**をどのようにやっていったらよいか、また教えてほしいです。
- **介護の現状と今後の方向性・対応について社会全体で共有を早く構築していく必要性**を非常に強く感じた
- 介護の状況を知ることができました。今後に生かしていきたいと思えます。
- **従業員へ説明する機会をつくりたい**と思いました。

● ビジネスケアラー

- **ビジネスケアラーという言葉**を初めて聞きましたが大変良くわかりました
- 「いつかケアラーになるだろう」と漠然とした不安は抱いていました。**数値的なエビデンスを見せつけられてやはり意識して勉強したいと強く**思いました。素晴らしいセミナーをありがとうございました。
- **ダブルケア、高齢者介護に対する職場での理解の必要性**を感じた。また**行政においては重層的支援ができる体制づくりも必要**。介護離職ゼロに向けて頑張ってもらいたい
- **ビジネスケアラー学**ぶいい機会になりました。

● 介護プロフェッショナルより

- 介護職していますので他の参加されている方に**分かりやすくケアサービス内容を伝えてくれて良かった**です。
- ビジネスケアラーの家族や当事者が利用する介護サービスの質を高め量を増やすことが大切。**介護職の所得向上やスキル向上、働きやすい職場づくり**を山梨県や市町村がこれまで以上に支援すべきと思った

4. 総括

- **企業、組織として「仕事とケアの両立」の必要性に関する認識の向上**
 - 仕事と介護の両立についての考え方の変化あり 94.5%
 - 介護制度未導入企業・組織は導入を検討
 - 介護制度導入済企業・組織のうち70%が制度の追加を検討
- **企業・組織における両立支援制度の導入における課題**
 - 認知の向上の必要性（介護休業といった法定制度についての認識が半数以下）
 - 検討したい両立支援制度
 - 従業員への知識装着 70%以上
 - 従業員の介護リスク把握、相談窓口の設置 約30%
 - 予算感に幅があり支援を望む声